

『スマートシティ実現に向けたまちづくり』

～住民の皆様の利便性の向上をめざして～

「スマートシティ構想」とは

背景

「2040年問題」

高齢世代の超高齢化、困窮化、孤立化・社会のあらゆる場面で担い手不足

教育、健康、都市etc
SDGsの実現

スマートシティ

新型コロナウイルス感染症拡大
「新しい生活様式」への適応

少子高齢化・人口減少社会への対応・住民生活の質の向上への要請



※構造的課題への従来型解決手法の限界

先端技術を活用した革新的な解決手法を積極的に検討・導入

目的

熊取町
第4次総合計画
【まちの将来像の実現】

効果的・効率的なまちづくり

地域特性を活かしたまちづくり

協働のまちづくり

住みたい住んでよかった
ともにつくる”やすらぎ”と”
ほほえみ”のまち

スマートシティ
によるまちづくり

- 将来像実現への加速
- +
- さらなる住民の利便性向上・幸福度向上



ICTなど先端技術を活用し、住民の皆様の利便性の向上をめざします

「スマートシティ」の実現 に向けた取り組み（導入済）

- 「おくやみワンストップコーナー」の設置
- 「LINEによる道路・公園通報システム」の導入
- 子育てアプリ「くまっ子ナビ」の導入 など

「スマートシティ」の実現 に向けた取り組み（令和4年度）

○小中学校

⇒ 「健康観察アプリ」「蔵書検索システム」の導入

○役場内部

⇒ 「文書管理システム」「チャットツール」の導入

利便性向上に向けた取り組み

○キャッシュレス

役場窓口における証明書発行手数料の
キャッシュレス化の実施

○行政手続のオンライン化

子育て、介護関連の26手続のオンライ
ン化

スマートシティ実現への取り組み

「GIGAスクール」への取り組み

- 小学校の大型ディスプレイR4年度はプロジェクタータイプに更新
- 1人1台端末(全ての児童生徒に配備)

G I G A スクールくまとり

【導入にあたって（環境整備等）】

R3.2 ○町立全小中学校に教育ICT環境を整備（国の方針（G I G Aスクール構想（※））に基づき）

これからの時代を生きる子どもたちに必要な力を育む教育を実践していくため

- ↳ (● 国際的に活躍できる力
● 社会に新しい価値を生み出せる力)

- 一人一台端末の配備
- 高速大容量無線ネットワークを構築
- 中学校：各教室に65インチディスプレイを配備
小学校：各教室42インチディスプレイ（既設）を活用 ⇒ **今年度プロジェクター型（最大80インチ）を導入**
- 教材ソフト等の活用

（※）Global and Innovation Gateway for All「すべての子どもたちにとって、グローバル人材・革新を起こせる人材になるための入り口」

【導入（ICT機器の活用等）】

R3.4～ ○町立全小中学校における教育活動において一人一台端末の活用を順次開始

主体的・対話的で深い学び（問題解決的・探究的な学習等）において… **ICT機器を文房具として有効に活用**

➢ 活用イメージ

大きな画面で、みんなの考えをいっしょに見ることができます



自分の考えを、大きく見せて、発表できます



知りたいことをすぐに調べられます



同じ画面を見ながら話し合えます

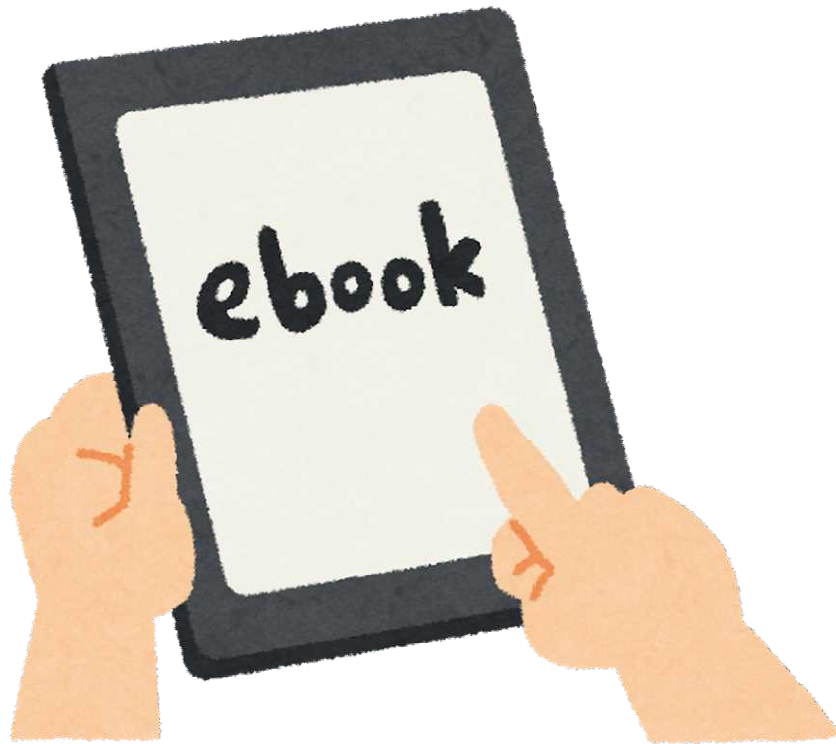


- 情報リテラシー・モラル：情報モラル教育（情報社会で適正に活動するための基となる考え方や態度）を指導
- 支援体制：児童生徒・教職員への端末操作、整備機器等の管理運用等を支援するICT支援員を配置
- 端末の持ち帰り：児童・生徒のICT機器操作の習熟度合等状況をみて順次実施

スマートシティ実現への取り組み

「電子図書館システム」の導入

電子書籍の貸出を始めます



今秋、開始予定

スマホ
タブレット
パソコンなどで
電子書籍
が読めます

* 図書館で所蔵している本
を電子化して貸出するもの
ではありません

24時間
どこでも
利用OK!

* ネット環境が
必要です

自動返却

返し忘れ
なし!